

# ファブテラス通信

## Fab Terrace Iwate News

第 24 号

令和 2 年 3 月 16 日発行

企画・発行／岩手県商工労働観光部

ものづくり自動車産業振興室

編集／特定非営利活動法人ゴーフォワードジャパン

## 令和元年度『第4回メイカー塾』を開催しました!!

今年度最後のメイカー塾は 3D プリンターについての講演会として、様々なメーカーの多種多様な 3D プリンターを体感できる RICOH Rapid Fab より、山口 清 氏をお招きしてお話をいただきました。



3月6日（金）、アイーナで令和元年度『第4回メイカー塾』を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大にともない、直前まで中止も検討しましたが、貴重な機会であることでもあり、感染防止策を施したうえでの開催となりました。

第一部では『いまさら聞けない 3D プリンターの基礎』という演題で、3D プリンターの7つの方式について、その利点と欠点、使用上の留意事項のお話と、使用される材料ごとの特性や、どのようなものに向いているのかなどの解説をいただきました。またサ

ポート材についても方式によって違いがあることなど有益な情報を提供いただきました。これは初心者だけでなく、実際に 3D プリンターを使用している利用者にとっても役立つ内容で、参加者の関心も高く熱心に聴講していました。

第二部では『3D プリンターを用いた商品の高付加価値化の実現』という内容で講演していただきました。これまでは 3D プリンターの出力は試作品などの制作が主で実際の商品にはならないという認識が多かったのですが、最近では 3D プリンターでなければできない高付加価値製品の制作が多くなってきているそうです。大量に安く作るのではなく、より良いものをそれに見合った価格で入手するという調達の動きが目立つようになってきており、具体的な事例として航空宇宙産業や、軍事利用など高付加価値な製品を 3D プリンターで直接作っていること、それを実現する高性能な 3D プリンターなどを紹介していただきました。そして、高性能な 3D プリンターといえども、設計や最後の仕上げなどは優れた職人技が必要であり、職人が 3D プリンターに仕事を奪われるといった事は無いと断言していたことが印象的でした。



色々な方式の出力サンプルの一部も多数展示いただき、休憩時間などに実際に触ってみることもできたので、受講者にはとても好評でした。質疑応答も多くあり、大変貴重で有意義なメイカー塾となりました。



～講師について～

リコージャパン株式会社  
産業ソリューション事業本部 インダストリアル事業部  
事業サポート室 3D 技術グループ リーダー

山口 清 氏

《略歴》

1990 年 (株) リコーに入社、R&D 部門で研究に従事  
2000 年 インクジェット事業に参画、開発リーダーとしてインク  
ジェットヘッドの開発  
2012 年 インクジェット活用先として 3D プリンター技術の調査検討  
を開始  
2014 年 3D プリンター事業を提案、新規事業として稼働  
現在、3D プリンター活用に関する開発とコンサルティングを担当

# スタッフの卒業制作作品をご紹介します!!

ファブテラスいわてでは岩手大学人文社会学部人間文化課程の学生さんがスタッフとして活躍してくれています。今年度、芸術文化専修プログラムの4年生で卒業を迎えた寺田ゆりかさんのレーザー加工機を使用した卒業制作作品をご紹介します。



卒業制作のテーマは「レーザー加工機を応用したイラストレーションの制作研究」です。作品は5点。アクリル板にデジタルイラストを彫刻し、色を付けたものを重ねて、奥行き感と透明感のある作品となっています。

2018年の5月からファブテラスいわてでスタッフとして活躍してくれていた寺田さん。レーザー加工機、デジタル刺しゅうミシンを使ったワークショップなどの企画運営や「Open/Close 看板」の制作なども行っていました。

今回、卒業制作としてファブテラスいわてのレーザー加工機を使用した寺田さんにお話を伺いました。

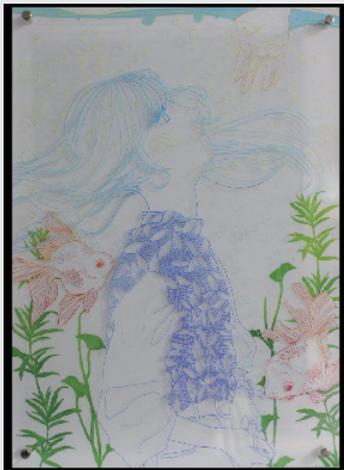


Q. レーザー加工機を使いたいと思ったきっかけは？

A. ファブテラスいわての利用者の作品を見ていた時に、実用的なものが多く、アート寄りの作品が少ないと思ったことがきっかけです。以前から描いていたデジタルイラストにレーザー加工機を活用したいと思い制作しました。

Q. 制作の中で苦労した点は？

A. 薄利紙をはがすことですね（笑）。普通に剥がそうとするとなかなか剥がれなくて、インターネットで調べて水で濡らしてから剥がす方法を取りました。



Q. 工夫した点は？

A. アクリル板の裏表を使い分けることで、色の見え方の調整をしました。彫刻部分は着彩しても少し白くなるため、色をはっきり出したいときは表面、光沢を出したいときはイラストを左右反転させ裏面に彫刻しています。



これからも制作を続けていきたいと話す寺田さん。  
今後の活躍を期待しています!!

ファブテラスいわて（いわて県民情報交流センター アイーナ3F）

開設日：原則として土、日、月曜日 10:00～18:00

TEL：019-656-0565（開設日/開設時間のみ対応）FAX：019-656-0566

ホームページ：<https://go-forward-japan.org/fabterrace/>

メールアドレス：[info@go-forward-japan.org](mailto:info@go-forward-japan.org)

